

教科	商業	科目	電子商取引	単位数	2
学年	3年	類型	流通経済科		
教科書(出版社)	電子商取引 新訂版(実教出版)				
副教材(出版社)					
授業の概要	電子商取引の基本的な仕組み、電子商取引のための Web システム構築、倫理、法制度、などの社会制度、情報セキュリティについて学ぶ。				
授業の目標	1 高度情報社会における企業の役割を理解させる。 2 情報通信ネットワークを活用した商取引の意義を理解させるとともに、それを行うための知識と技術を習得させる。				
年間 学習 計画 画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	第1章 情報通信技術の進歩とビジネス 第2章 コンテンツの作成	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワークの活用によるビジネス形態の変化に関心を持ち、身近な具体例でそれらの特徴を理解している。 電子商取引の長所・短所を理解し、その内容を具体的に表現できる。 図形、静止画、動画、音声などのファイル形式の違いにより、目的に応じた適切な方法を考え、表現できる。 ワードを用いて、基本図形や組織図、グラフなどを取り込み、編集できる。 		
	2 学期	第3章 ウェブデザインと広告・広報 第4章 ウェブページの公開 第5章 電子商取引とビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ウェブデザインにおいて、顧客の立場に立ったコンセプトを自ら考え、それをウェブページに表現することができる。 ウェブページを制作し、公開するまでの基本的な手順を理解している。 ハードウェア・ソフトウェアに関する基礎知識を身に付け、その動きや仕組みについて説明できる。 電子商取引におけるさまざまな法律による規制について理解している。 		
	3 学期		<ul style="list-style-type: none"> 電子決済の意義や方法について理解している。 取引対象が異なる電子商取引の違いについて理解している。 電子商取引の現代社会における役割について理解している。 		
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
	ビジネスにおける電子商取引の必要性に気づき、電子商取引システムの構築に必要な知識や技能を積極的に学ぼうとしている。	知的財産権を意識したウェブデザイン設計を行うことができる。	図形や静止画、動画、音声などのコンテンツを利用した情報発信に必要な機器やソフトウェアの利用方法を身に付けている。	ビジネスにおける電子商取引の意義や役割を理解するとともに、ウェブページを用いて情報を効果的に伝えるための知識を身に付けている。	
備考	4つの観点に基づき、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期を平均し総合的に評価する。				